

# JR東労組盛岡

No. 113  
2023年 2月12日  
東日本旅客鉄道  
労働組合  
盛岡地方本部

〒020-0045  
盛岡市盛岡駅西通二丁目16番31号  
発行人 佐々木克之  
編集人 情宣部  
NTT 019-623-1011 FAX 019-624-0157  
JR 033-2238-2239 FAX 033-2230

## 申5号 団体交渉!



# 「田沢湖線前潟駅開業」に伴う訓練運転の実施を求める緊急申し入れ

1. 田沢湖線前潟駅開業に伴っての訓練運転は、関係する乗務員を対象に訓練列車を仕立てて、ハンドル訓練1回以上行うこと。

回答 必要な教育を実施していく考えである

### 【組合の主張】

★会社回答に書かれている内容は何か。この間、盛岡支社における新駅開業や駅移設時にはハンドル訓練を行ってきた。

★本当に安全が守れるのか。

★現場での訓練会での指導総括からの説明で「本社指示がされた」「支社判断だ」と理由が二転三転しており、職場での不信感がある。

★職場での声は「ハンドル訓練を行うべき」という声が多くある。支社はその声を受け止めないのか。社員の声を受けて反映しないのか。職場の声はどこにいったのか。

★今後、新駅開業等があった場合は、ビジュアル教材を活用しての訓練に進んでいくのか。ハンドル訓練は行わないという判断になるのか。

★この間行ってきた乗務員に対する教育の基準は変わらないのか。ビジュアルに置き換えられるということではないということの良いか。

★横手統括センターでは本線乗務員もハンドル訓練を行っている。なぜ盛岡支社はハンドル訓練を行わないのか。なぜ内容に違いが出るのか。

★不安を解消するために、現場でより安全に乗務してもらうための判断は、支社として支援していくべきである。

★ビジュアルを付加しながらハンドル訓練を行った方がより安全・安定輸送に寄与できるし、安心も提供できる!

★言った言わないというが、現実話している。しっかり正していくものは正していくべきだ! 支社として受け止めていただき指導していただきたい!

### 【会社の主張】

●今回前潟駅開業に伴っての訓練運転は行わない。ビジュアル教材を用いて教育を行い。ビジュアル教材は運転操縦に必要な情報を盛り込んだものとなり、その教育で十分足りる認識。速度感覚や距離感覚もビジュアル教材で補える。

●ハンドル訓練を行うか行わないかで安全は変わらない。

●その管理者は「本社指示」と言った認識は無いと言っている。ただ誤解を生じかねない表現だったと認識している。

●ハンドル訓練をするべきという声があるから行うものではない。そのような声がある中で、しっかりと教材を活用して不安解消していく。社員の声すべて結びつくかとなればそうではない。

●ハンドル訓練を削減して、ビジュアル動画に置き換えていきたいという目的ではない。必要な教育ということで考えているので、当然ハンドル訓練が必要であれば行う。

●考え方とすれば、過去の訓練内容を否定するものではない。今回のようにビジュアルを活用する場合もあるし、ゼロベースで検討していくこととなる。

●教育内容は全社一律に仕切っているわけではない。各支社で教育内容を検討して判断しているのは正しい。乗務出来た方がいいのはわかるが、そこまでやらなくても十分できると判断をしている。

●支社として支援もするし、現場で判断するものもあると思っている。

●言った言わないの議論ではないが、訓練会では正しく伝わらないと意味がない。正しく伝えたいことが伝わるようにしていく。

安全に乗務できる体制を構築し、前潟駅開業を成功させよう!